

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2021年3月期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証第二部 6836

2021年5月14日

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設 立：1993年3月

決算期：3月

上 場：東京証券取引所第二部 6836

資本金：11億9,760万円

社 長：鈴木 友康

売 上：12億3,387万円（2021年3月期）

社員数：38人（2021年3月31日現在）

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社のミッション

「Connectivity for Everything」

“コネクティビティの提供”

ぷらっとホームの事業領域

「Connectivity for Everything」

PHYSICAL WORLD

センサーデバイス
コネクティビティ



IoT デバイス・センサー

IoT ゲートウェイ

クラウドサービス

あらゆるデバイスをインターネットへ
取扱商品（センサー）の拡充

コア・コンピタンス

IoT事業

CYBER WORLD

データエクスチェンジ



AirManage2

デバイスリモートマネジメントサービス

DEXPF™

IoTのトラストなデータ流通を実現

研究・開発の実施等による
データ流通基盤の構築

より利便性の高い社会の実現へ

地方公共団体・電力会社
交通・物流・公共施設

より豊かなくらしづくりの実現へ

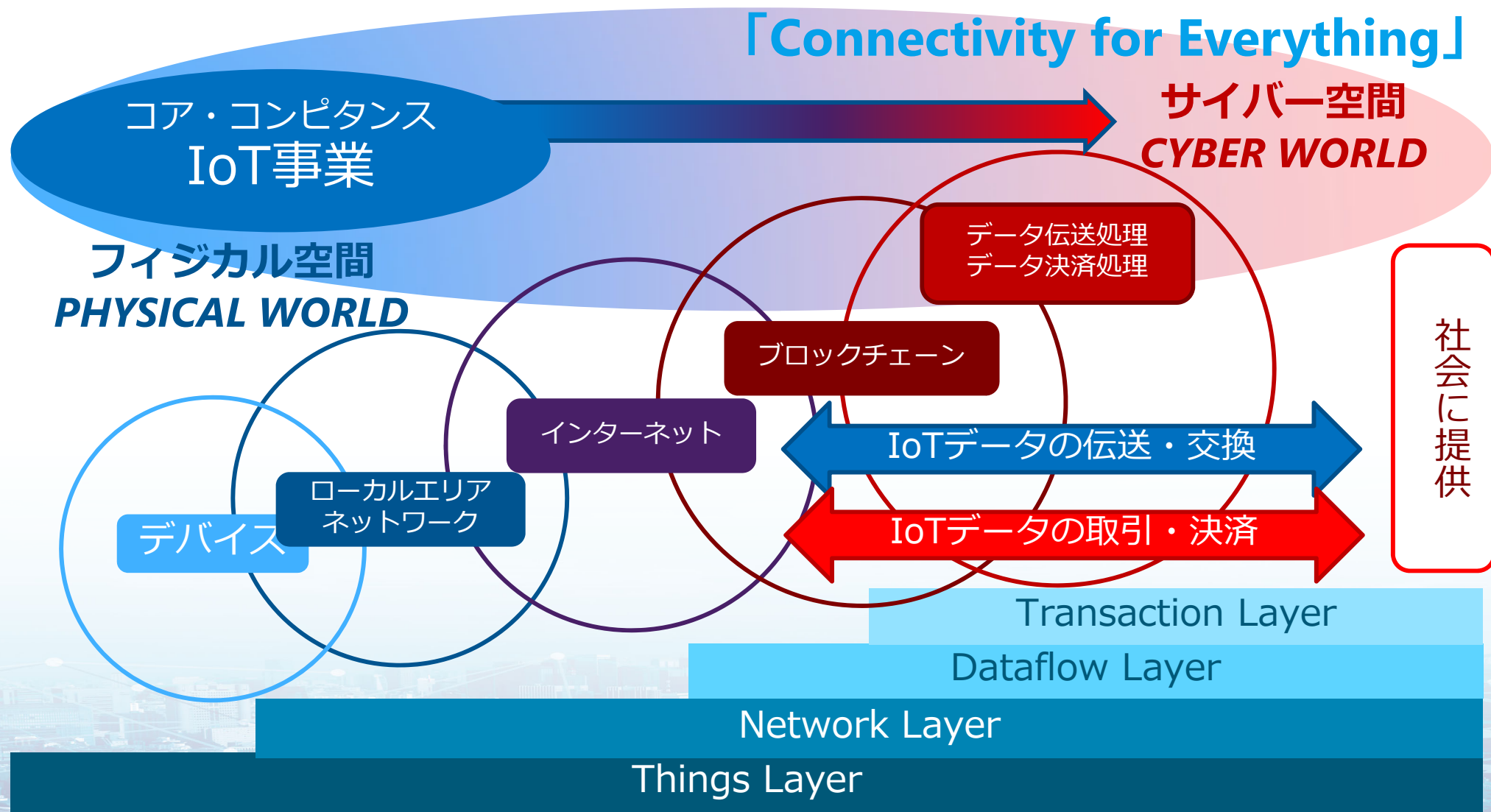
ビルマネジメント・ビル設備・照明システム
自動車・エネルギー・各種製造業・建設業

より安全な社会の実現へ

地方公共団体・教育機関・医療機関
警備・保険・セキュリティ

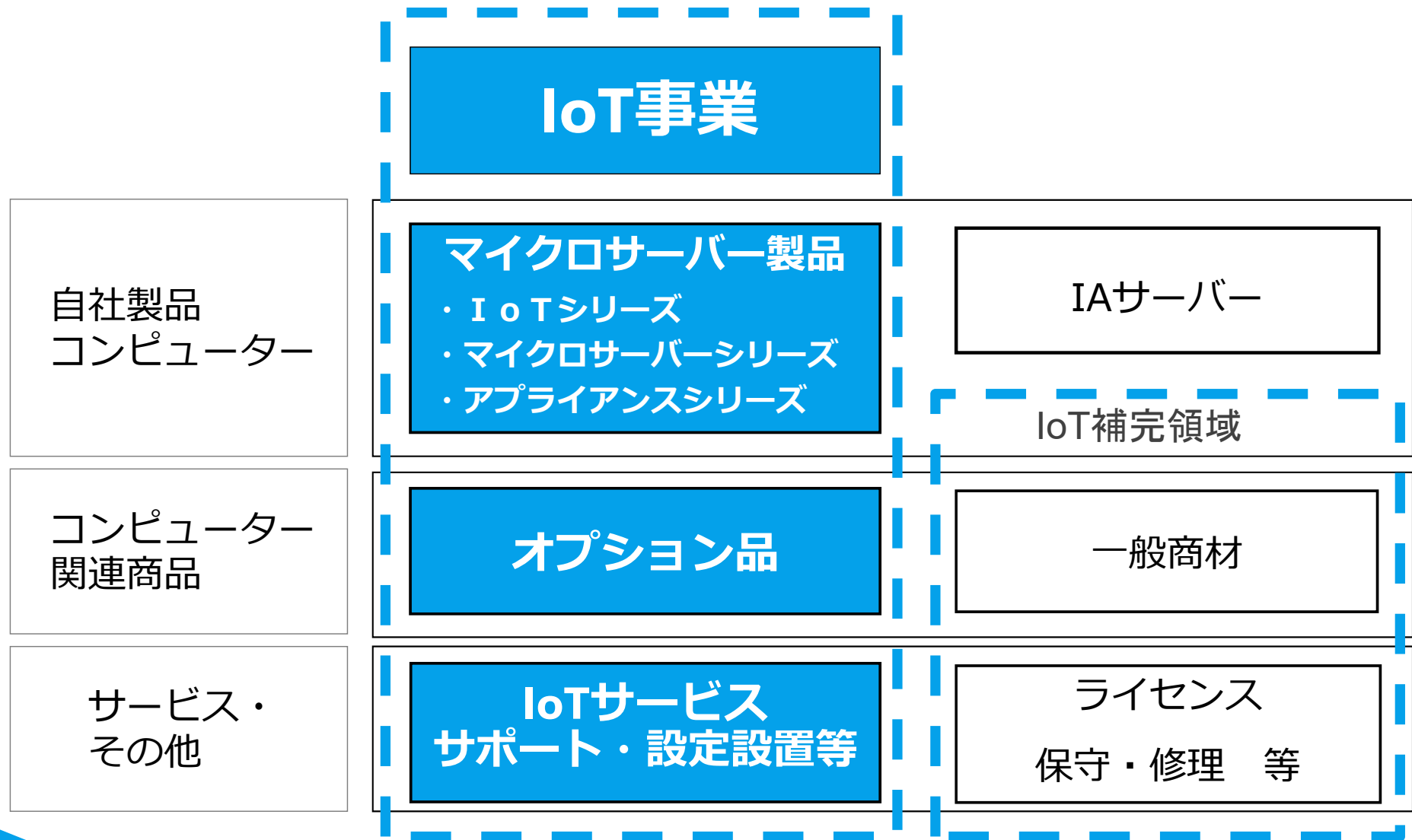
当社が培ってきたIoT事業を核に
周辺領域へ事業を拡大

ぶらっとホームの事業領域



当社はサイバー・フィジカルの情報流通を提供し
世界に社会イノベーションを加速します

事業構成

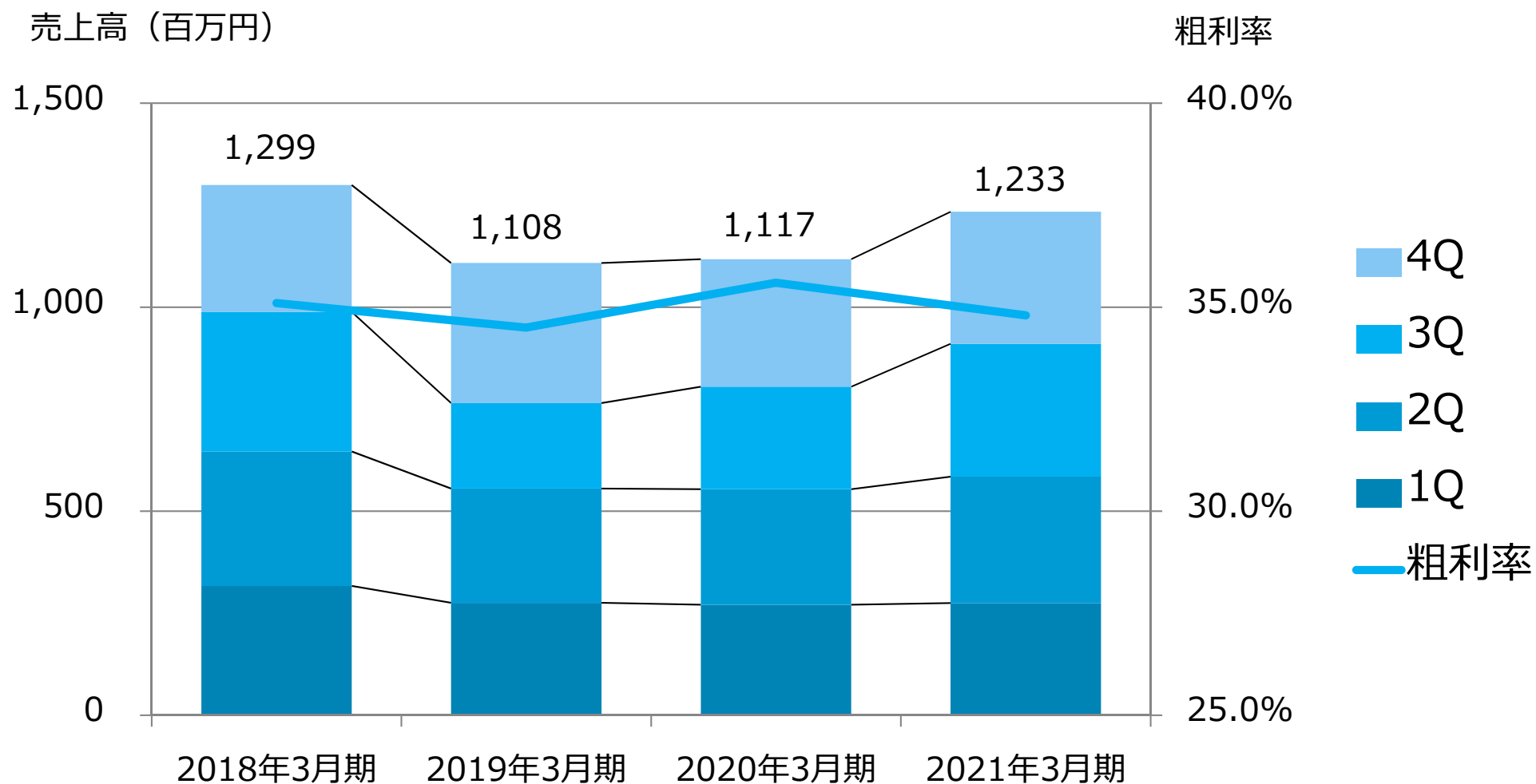


自社IoT事業を核にパートナー各社とのアライアンスでIoTの補完領域を拡充

Financial Results 2020

2020年度の業績

売上高の推移



品目別の状況

売上高	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	1,117	100.0	1,233	100.0	116	10.4
自社製品コンピューター	591	53.0	582	47.2	△ 9	△ 1.6
コンピューター関連商品	290	26.0	376	30.5	85	29.5
サービス・その他	234	21.0	275	22.3	40	17.2

粗利益	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
	金額	粗利率	金額	粗利率	増減額	増減率
粗利益	398	35.6	429	34.8	31	8.0
自社製品コンピューター	185	31.4	181	31.1	△ 4	△ 2.6
コンピューター関連商品	60	21.0	83	22.2	22	37.2
サービス・その他	151	64.5	165	60.1	13	9.2

(単位 百万円未満切捨、%)

新型コロナウイルス感染拡大の影響

売上高	上半期		下半期		通期	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
I o T事業	326	△9.1	367	4.3	694	△2.5
その他	257	32.7	281	33.4	539	33.1
合計	584	5.6	649	15.2	1,233	10.4

(単位 百万円未満切捨、%)

■ I o T事業

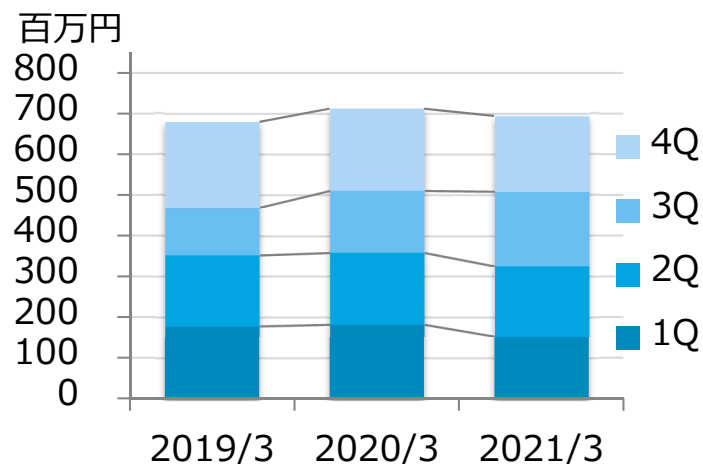
上半期途中まで、製品部材の納期遅延、顧客の受注減少や後ろ倒しにより売上高が減少したが、納期遅延が解消するにつれ下期にかけて徐々に売上高が回復。新規事業化案件の進捗は滞ったものの、通期では前期を若干下回る程度で着地

■ その他

ユーザーのテレワーク導入等によりネットワーク関連商品の需要が通期にわたり好調

IoT事業の推移

IoT事業の売上高



	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	712	694	△ 17	△ 2.5
マイクサーバー製品	581	558	△ 22	△ 3.9
IoTサービス	63	72	9	14.3
その他サービス	67	63	△ 4	△ 6.3
売上総利益	295	295	0	0.0
粗利率	41.4%	42.5%	+ 1.1p	

(単位 百万円未満切捨、%)

新型コロナウイルス感染症の影響により、IoT事業全体の売上高は前年同期に比べ減少したが、売上総利益は増加

IoTサービスはストック型・サービス型の事業モデルへの移行の効果が現れサブスクリプションやエンジニアリングの提供が増加し、売上高が増加

損益計算書

	2020年3月期		2021年3月期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	1,117	100.0	1,233	100.0	116	10.4
売上総利益	398	35.6	429	34.8	31	8.0
販管費	540	48.4	549	44.6	9	1.8
営業利益	△142	△12.7	△119	△9.7	22	—
経常利益	△142	△12.7	△120	△9.7	22	—
当期純利益	△150	△13.4	△124	△10.1	25	—

IoT事業の売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少し、その他の売上高はテレワーク・DX需要により増加

全般的に抑制したが、やや増加

(単位 百万円未満切捨、%)

貸借対照表

	2020年3月		2021年3月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	334	40.0	318	42.5	△ 15	△ 4.6
売掛金	175	21.0	122	16.3	△ 53	△ 30.4
たな卸資産	266	31.9	249	33.3	△ 17	△ 6.6
その他	9	1.1	9	1.3	0	4.2
流動資産	785	94.1	699	93.4	△ 85	△ 10.9
固定資産	49	5.9	49	6.6	—	—
資産合計	835	100.0	749	100.0	△ 85	△ 10.3
流動負債	240	28.8	278	37.1	37	15.8
固定負債	37	4.5	39	5.3	2	5.7
負債合計	277	33.2	317	42.4	40	14.4
純資産合計	557	66.8	431	57.6	△ 126	△ 22.6
負債純資産合計	835	100.0	749	100.0	△ 85	△ 10.3

主な内訳

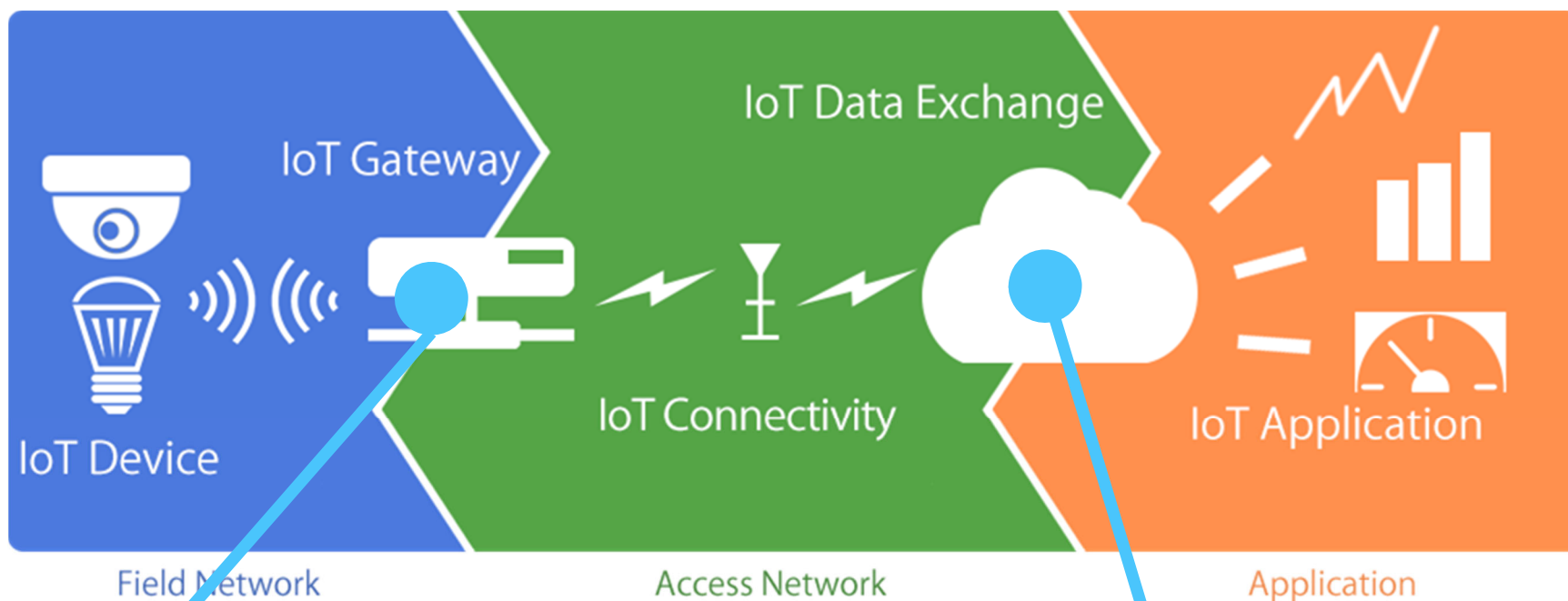
■商品・製品 14百万円
■原材料 234百万円

買掛金の増加 41百万円

(単位 百万円未満切捨、%)

当社の役割

IoTシステム全体図



デバイスコネクティビティの提供



サブスクリプション型サービスの提供



全製品サブスクリプション
標準添付

デバイスマネジメントプロダクトの提供



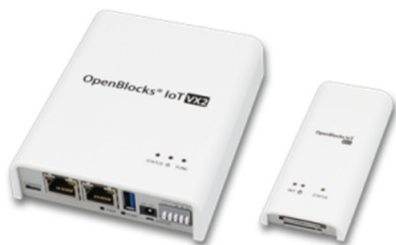
データ伝送・交換プラットフォームの提供



DEXPF

マイクロサーバー

OpenBlocks IoTシリーズ



モノとインターネットをつなぐIoTゲートウェイ製品
さまざまな通信プロトコルに対応し、デバイス・クラウド間の
コネクティビティを実現するソフトウェアを搭載

OpenBlocks マイクロサーバーシリーズ



各種制御システム・エッジコンピューティングに最適なマイクロ
サーバー
IoT/M2Mの基盤となる各種ネットワークサーバー用途のほか、
アプライアンスのベース製品としても最適

EasyBlocks アプライアンスシリーズ



マイクロサーバーをベースハードウェアとし、ネットワーク系
ソフトウェアを搭載した高付加価値マイクロサーバー
DHCP、Syslog、VPNといったネットワークに必要な機能を
オールインワンで提供

IoTシステム運用・管理 SaaS の提供

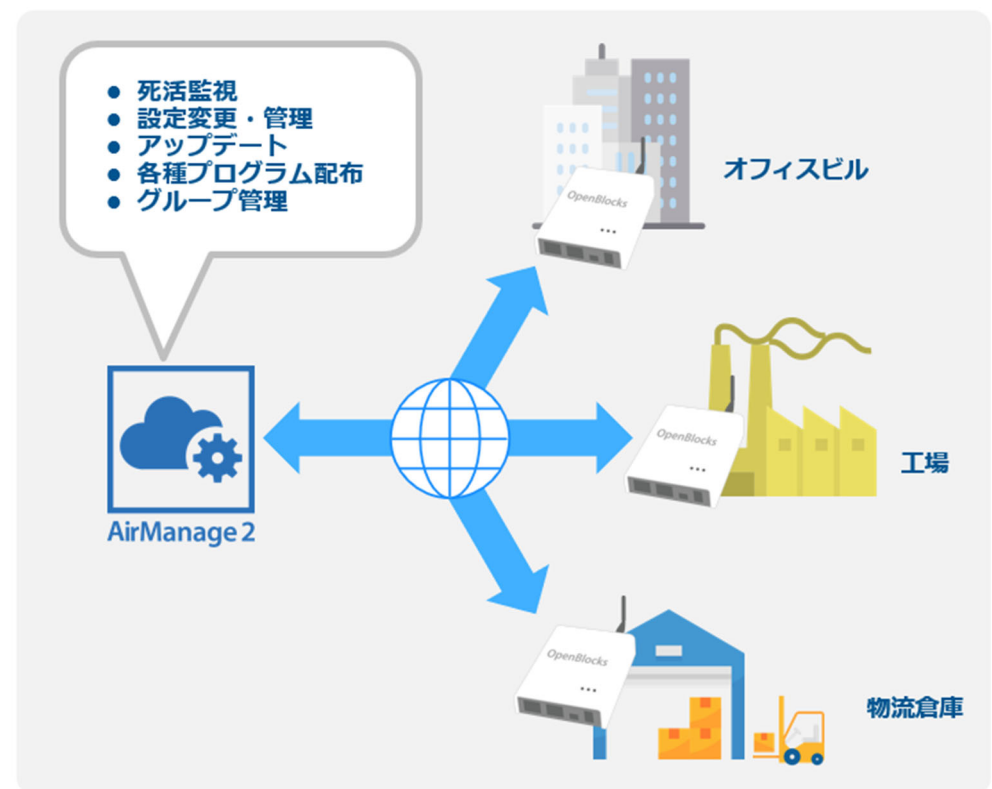
IoTゲートウェイリモートマネジメントサービス「AirManage」により遠隔地からセキュアに設定・監視・メンテナンスが可能となるサービスを提供

IoTシステムの運用コストを大幅に削減し、安心・安全なIoTインフラ構築を支援



サブスクリプションの導入

リモートマネジメントサービスをはじめ、Q&A、先出しセンドバック、最新ソフトウェアの通知など、各種サービスを年単位で提供



データ伝送・交換 SaaS の提供

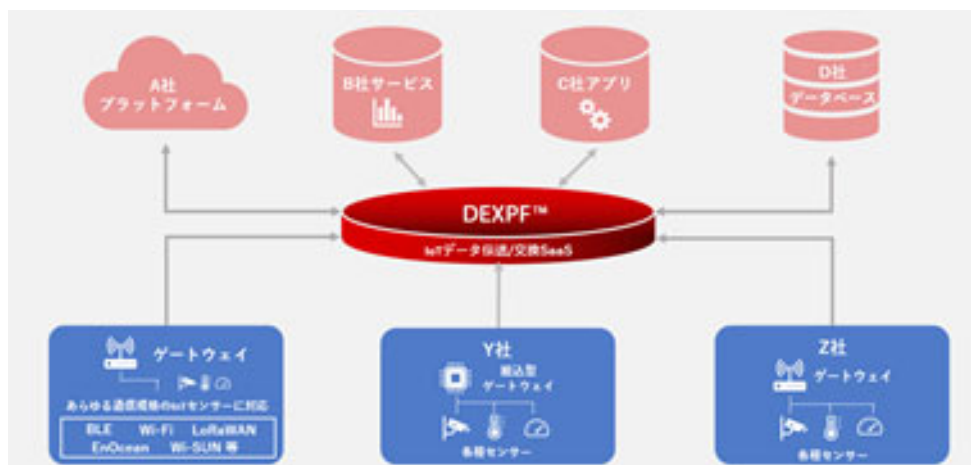


サービス型事業モデルのキープロダクト 「DEXPF」を製品投入

IoTにおける各サービスやサービスプラットフォームに対して、任意のIoTデバイスやデバイス群からのアクセスサービスを提供するデータ流通基盤

デバイスからクラウド、クラウドとクラウド間のデータ連携・利活用を自由に行うことができるクロスドメイン型のIoT基盤であり、様々な事業者や様々なデバイス群の複数ドメインにまたがるIoTデータの利活用が実現

DEXPF 概要図



DEXPFはダイキン工業株式会社が推進する空間データの協創プラットフォームCRESNECTプロジェクト※において、東京・丸の内に開設する会員制コワーキングスペース

『point 0 marunouchi (ポイントゼロ マルノウチ)』のシステムとして採用

※『CRESNECT (クレスネクト) プロジェクト』は、空調機から得られるさまざまなデータや、各パートナー企業が持つデータやノウハウを蓄積し、活用しながら、空間にまつわる新たな価値やサービスを創出していくためのオープンデータプラットフォームです。

慶應義塾大学SFC研究所とブロックチェーンに関する共同研究を開始

「サイバーフィジカルワールドを実現させるためのプロトコル研究」

慶應義塾大学 SFC研究所の村井純教授、鈴木茂哉特任教授と、IoTデータ交換の標準的なプロトコル策定に関する共同研究を開始（2021年7月発表）

IoTの分野では近い将来、各種デバイスにより取得された様々なデータ交換が行われることが想定されているが、そのやりとりを制御するプロトコルには標準的なものがなく、各種データ交換を自由に安全、かつスムーズに行う上で、ハードルになると想定される。

本共同研究は、分散型台帳技術（いわゆるブロックチェーン）を活用した、具体的で実現可能なプロトコルを策定するもので、IoTを扱うトークンを含む標準的なプロトコルを策定することが目標。

また、それらが今後のIoTの普及促進に寄与することを目指す。

ぷらっとホームとブロックチェーン

2016年より分散型台帳技術（ブロックチェーン）をIoTの重要な要素技術と位置づけ本格的に研究を開始

2020年6月株主総会において定款へ「ブロックチェーンに関するシステムの研究、開発、販売、保守及びコンサルティング」を追加

2020年度に初期顧客への実証システムの導入を実施

2021年度より本格的な収益化のための事業推進を図る

パートナーアライアンスの拡充

国内外のセンサーメーカー・商社がパートナーとなり、あらゆる種類のデバイスをフィジカル空間からインターネット空間、サイバー空間へクライアントのニーズに応じて当社がセンサーを含めて提供し、コネクティビティを実現

PHYSICAL WORLD



Internet



CYBER
WORLD

BLEビーコン
→所在管理

温度・湿度
→品質管理

人感センサー
→在席管理

カメラ
→見守り

環境項目
→環境モニタ

振動センサ
→動物管理

クライアントや時代、社会のニーズに合わせて
あらゆるデバイスとのコネクティビティを実現

■ 参加企業

- 富士通株式会社 ● EnOcean GmbH ● 丸紅情報システムズ株式会社 ● セイコーインスツル株式会社
- アルプスアルパイン株式会社 ● ローム株式会社 ● 沖電気工業株式会社 ● オムロン株式会社など

国内外のセンサーデバイスメーカー・商社とアライアンス

パートナーアライアンスの進捗

専門分野の強みを持つ国内外のメーカー・商社とのパートナーシップにより今後の事業展開を加速

2020年度の実績

2020年04月07日	IoTセンサー・デバイス パートナープログラムに フォーカスシステムズ が参加
2020年05月14日	IoTセンサー・デバイス パートナープログラムに ワッティー が参加
2020年05月22日	IoTセンサー・デバイス パートナープログラムにドイツ EnOcean 社と 丸紅情報システムズ 社が参加
2020年07月14日	IoTセンサー・デバイス パートナープログラムに SII（セイコーインスツル） が参加
2020年09月04日	丸紅情報システムズ がEnOcean製センサーとOpenBlocksのソリューション提供を開始
2020年09月24日	IoTセンサー・デバイスパートナープログラムに オカベマーケティングシステム が参加
2020年12月02日	菱洋エレクトロ と販売店契約を締結

(当社プレスリリースより抜粋)

Plat'Home × **IoT** 2021

2021年度の事業戦略

事業戦略

新しいテクノロジーの出現

社会の大きな変化

コロナウイルスによる
社会変化の加速

IoT/分散型台帳技術/AIにより、サイバーワールド（電子空間）とフィジカルワールド（物理社会）の連携がさらに強化される→ 当社への機会

2017

2018

2019

2020

2021

2022

プロダクト投入

- ・IoTゲートウェイプロダクト：OpenBlocks IoT シリーズ
- ・IoTゲートウェイソフトウェア：FW4
- ・マネジメントプロダクト：AirManage 2

サービス型事業モデルへの転換

- ・サブスクリプションの導入
- ・ストック型ビジネスへの開発投資

パートナーアライアンスの拡充

- ・センサーデバイスパートナー
- ・ソリューションパートナー

IoT市場へのさらなる浸透

- ・市場ニーズに的確に対応した製品供給
- ・都市IoTなど主要用途の開拓・浸透
- ・サービス提供による継続的価値実現
- ・ソフト分野フォーカスによる新たな成長
- ・パートナー協業による顧客課題の解決

重要ニーズへの対応

- ・IoTデータ流通への対応
- ・分散型台帳技術のIoT利用
- ・IoT製品に付帯したセンサー等の周辺商品の販売強化

パートナーアライアンスのさらなる強化

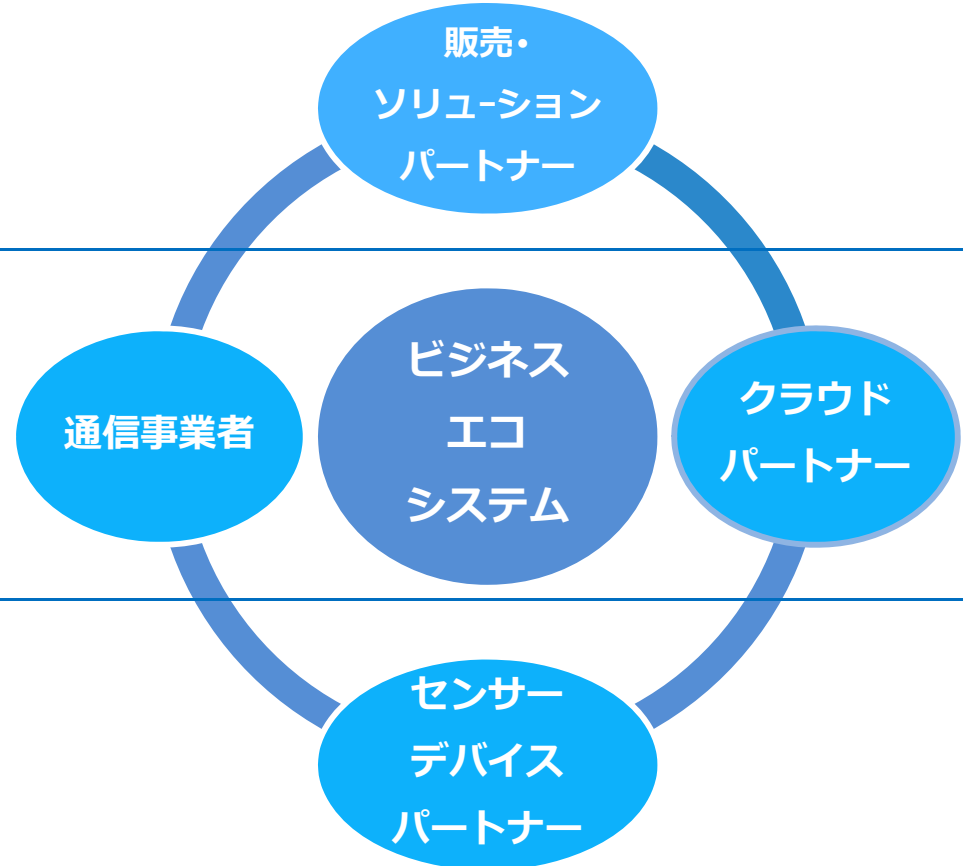
I o Tシステムにおける各レイヤーの主要企業との連携

様々な業種や分野を取り込み飛躍的に成長していく I o T 市場に対応

アプリケーション

通信・
プラットフォーム

センサー・デバイス



業績予想

	2021年3月期	2022年3月期		前年同期比	
	通期実績	上期予想	通期予想	増減額	増減率
売上高	1,233	629	1,370	136	11.0
経常利益	△120	△64	△ 50	70	—
当期純利益	△124	△68	△ 60	64	—

(単位 百万円未満切捨、%)

- I o T 事業の売上高は800百万円（前年同期比 15.1%増）の見込み
すでに事業化が進んでいる都市 I o T、農業分野では引き続き需要が伸長すると予想されること、さらに初期検討段階にあった案件が次の段階に移行して行くことを勘案
- 一般商材などの I o T 事業以外の売上高は570百万円（前年同期比 5.7%増）の見込み
引き続きネットワーク関連の需要のほか、I o T 製品に付帯したセンサー等周辺商品の売上が増加
- 販売費及び一般管理費は、研究開発費など新規領域への投資は継続するものの、当事業年度並みに抑制



中長期の成長を目指す

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

(注) スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。